

みらい

Vol.55

田名整形外科クリニック
上溝整形外科リハビリクリニック

北海道 標茶町しべちの牧場にて、子馬のピーちゃん

骨粗鬆症の注射薬

田名整形外科クリニック 院長 木内哲也



皆さんは人の骨は絶えず新しくなっているのをご存じですか。

人間の体は、古い骨をとかず破骨細胞はこつさいぼうが生涯を通じて骨を減らし(骨吸収)、その場所に骨を作る骨芽細胞こつがさいぼうがたえず新しい骨を作り

(骨形成)続けています。若い人では1年間に骨全体の20〜30%の骨が生まれ変わっているのです。このバランスがくずれ、骨をとかず細胞が多くなったり、骨を作る細胞が減ったりすると全体では骨の密度が少なくなり、いわゆる骨粗鬆症の状態となります。

骨粗鬆症の検査には、骨の密度を直接検査する骨密度や、血液検査や尿の検査で、骨をとかしたり、骨を作ったりする細胞の数を検査し、骨の代謝を評価する骨代謝マーカー検査があります。

骨粗鬆症の薬は大きく分けて2種類あります。骨がとけるのを抑える(骨吸収を抑制する)薬と、骨が新しく作られるのを促進する(骨形成を促進する)薬です。

今までは、骨をとかず細胞の活動を抑えるビスフォスフォネートと呼ばれる飲み薬が主流でしたが、最近はいろいろな新しい薬が出てきました。

最近注目されているのが注射薬です。今までの飲み薬のように骨吸収を抑える良い注射ができましたが、同じ作用の薬でも注射のほうが飲み薬より効果があることがわかってきました。新しく出た注射薬の中で注目されているのが骨の形成を促す薬です。注射を続けると、数カ月で明らかに骨の形成が促進される報告が出ています。注射薬は、毎週打つものや、月に一度打つもの、さらに半年に一度打つものなどその作用によっても注射する頻度が違います。

薬を飲むわずらわしさから解放される効果や、認知症の人への対応のしやすさもあるようですが、患者さんと相談しながらそれぞれの方に合った治療を選んでいきたいものです。

薬との飲み合わせについて

田名北薬局 薬剤師
風張 治一



「薬」を使う時に気をつけたいのがほかの薬や食べ物・飲み物との飲み合わせです。飲み合わせが悪いと薬の作用や副作用が強くなってしまったり、薬の作用が弱くなってしまったりすることがあります。

今回は、薬とグレープフルーツの組み合わせについてお話ししたいと思います。

グレープフルーツと薬の関係が明らかになったのは、20年ほど前、グレープフルーツに含まれる成分が、一部の薬ですが効き目を強くしてしまうことが分かったのです。

グレープフルーツを取る量や、薬の種類によって影響の程度は異なりますが、薬の分解が遅れることで、薬が効きすぎた状態になります。組み合わせによっては、効き目が通常の数倍にまで増加するものもあります。さらにこの組み合わせで厄介なところは、グレープフルーツの影響がしばらく続くことです。薬と同時に飲まなければ大丈夫というわけではなく、一度取ると影響がなくなるまで3~4日かかると言われています。お薬を飲んでいる時にうっかり食べたり、飲んだりした場合には注意が必要です。

さらにグレープフルーツの仲間のかんきつ類でも同じことが起きる可能性が指摘されています。スイーティーやザボン(ブンタン、バンペイユなど)、ダイダイなどに注意が必要です。しかし、かんきつ類の中でも温州みかん、バレンシアオレンジ、レモン、カボスなどは原因となる成分が含まれていないため、これらは食べても薬の効き目に影響はありません。

一方、グレープフルーツの影響を受ける薬について有名なのは血圧の薬ですが、すべての血圧の薬が影響を受けるわけではなく、また影響を受ける薬の中でもその程度は様々なので、薬の種類に応じて判断が必要です。血圧の薬以外にも一部の高脂血症の薬や免疫を抑制する

薬、血液をさらさらにする薬をはじめとして、多くの薬に影響をあたえる可能性があります。

わたしたち薬剤師は、薬をお渡しする際には、患者さんからの情報をもとに、一人ひとりの生活スタイルに合わせ、安全で効果的な薬の使い方を説明します。また飲み合わせによるトラブルを防ぐために、アレルギーや副作用などの体質記録、喫煙などの生活環境やお薬手帳にかかれた情報を確認しています。

今、どんな薬を飲んでいるのか、どんな市販薬を使っているのか、どんな健康食品を飲んでいるのかなど、正確な情報をお知らせください。

お薬手帳は少々かさばるので、受診するたびに持ち歩くのは面倒だったり、忘れてしまうことも多いかもしれません。医師や薬剤師が患者様に薬を安全に使っていただくために必要な手帳です。自分の健康を守る重要な手帳ですので、薬を飲んでいる時は常にお薬手帳を持ち歩くようにしてください。



担当医変更のお知らせ

担当医

田名整形外科 木曜午前
上溝整形外科 木曜午後

担当 東海大学病院
横山 勝也 先生

撮影者の声

春生まれのピーちゃんは、お母さんと別れてピーピー泣いていたのでピーちゃんと言われました。人を見るとすり寄って来ますが、子馬とはいえ足を踏まれると痛いです。(K)

訪問リハビリテーションを始めました。詳細につきましてはお問い合わせ下さい。



医療法人未来
田名整形外科クリニック

TEL:042(761)7000
上田名交差点より大島方向400m
水曜午前は、内科医師による診療もしております

上溝整形外科リハビリクリニック

TEL:042(786)7700
駅より1分、かみみぞクリニックビル3F

<http://www.mirai-med.or.jp>

